

令和7年度3月号 [3月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

大人になる

校長 柳田 勇

春に向かい、天候が様々に変わる日々が続いております。引き続き、体調管理には十分お気をつけいただきたいと存じます。

13日(金)、第79回卒業証書授与式を盛大に実施することができました。例年感じることですが、義務教育を修了し、学び舎を旅立つ生徒たちの凛々しい顔とともに、保護者の皆様の安堵の表情を見て、無事に卒業式を行えたことに胸を撫で下ろす次第です。15年の月日には様々な歴史があり、多くの出来事があったことと存じます。79期の皆さんには、これからもさらなる活躍を期待するばかりです。また、在校生も卒業式にかかわることで、進級を意識し、自分を見つめる機会になったと感じております。卒業式にかかわった全ての人にとって、素晴らしい1日になったと思っております。

さて、「環境が人を変える」ということを聞いたことはないでしょうか。生徒たちにとっては、小学校から中学校・中学校から選択した進路先へ通う場所が変化することなどがあげられます。また、私たち大人も、今までにいくつかの環境の変化があったと思います。環境が変わることに伴い、そこでのルールや慣習も変わると思います。その変化をどのように捉えるかで、大人としての立ち振る舞いに違いが出るように感じております。

自分が思っているように物事が進まなかったり、今までとやり方が違ったりすると、誰でも戸惑ったり、不満を抱いたりするものです。そのような思いをしながらも、「まずはやってみよう」と取り組むのか、もしくは、自分の思っていることを言葉にして、不平を言いながら取り組むかで違いがでると思っております。結果として、本人はやるべきことを行うわけですから、自分の責任を果たすこととなります。成果を上げるわけですから、問題もないと思います。しかし、周りの人からしたらどうでしょうか。ルールや慣習は、その環境に適したものや合理的に行うためにあったりするものかもしれません。そして、その場にいる人は、同じ条件で物事を進めている訳です。大切なことは、自分の気持ちとともに、周りの人にも気持ちがあるということ忘れてはならないということです。親しみや協力は、お互いの気遣いにより生まれるものではないかと考えるからです。

大人になると、やり方を変えるためには「代案」が求められます。「こちらのやり方のほうが、このようなメリットがあります」など、結果や理論に基づいて提案することが必要となります。しかし、自分が感じたことを言葉にして発言するだけでは、何の解決にもなりません。「ただ文句や言い訳を言っている」としか捉えてもらえないと思います。今いる環境を確認し、なぜそのようなルール等があるかを考え、客観的な判断材料をもとに考える必要があると思います。そして、自分のことだけではなく、周りにも改善できる内容でなければ、ただの自分勝手な人です。皆にとって必要な代案を出せることで、大人に近づけるのかもしれませんが、昔から「石の上にも3年」などの言葉があるように、大人になるには時間がかかるのかもしれませんが、環境が変わることは、自分が変わるチャンスでもあります。チャンスを大切に、大人に向かいたいものです。